



為石小学校の合言葉 「ためし 最高！ ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ  
○正しく めあてを しっかり守る  
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



# ためし



令和7年11月19日号 文責 上久木田 雄二

## 読書週間の取組

みなさんは、図書室と図書館の違いを意識したことがありますか。

学校内にある施設は通常「図書室」と呼ばれます。そこに本があれば「室」ということです。

選書したり、活字媒体を活用した取組を機能したりできれば「館」と呼ぶのだと私は認識しています。

学校は、学校図書館を目指していますので、子どもたちに読書習慣を身に付けさせたり、読書の偏りに気づかせたりする指導が必要となります。これを「読書センター」としての機能と言います。

これ以外にも、図書室は「学習センター」や「情報センター」としての機能も有することになります。

今年度から学校図書館司書が代わっています。長崎市に司書制度が導入されたときから業務に携わるベテランが赴任してくれました。大変心強いです。

ランが赴任してくれました。大変心強いです。

現在、図書室を中心に読書週間の取組を進めています。写真は「読書ガチャポン」をしている様子です。

ガチャポンマシンは司書が手作りし、子どもたちの読書意欲を喚起しています。



私も含め教員は、ガチャポンの「指令」をつくる担当になりました。

図書委員会の児童は、景品等を作り、週間を盛り上げています。

ところで、学校に勤める司書は、「学校図書館司書」と言います。学校図書館という言い方がいかにも役所的です。図書室を図書館のようにするという方向性を感じてもらおうというニュアンスがあるようです。

子どもの読書習慣は、家庭や親の読書習慣の影響を受けると言われています。

私も読書が好きなほうではありませんが、仕事上読んでいるという感じです。

子どもが図書室から本を借りて、家に持ち帰ることがあると思います。その時はぜひ本を手に取ってください。

そして、少しだけ本を読んでみてください。子どもが今どんな世界に興味を持っているのかが分かると思います。



HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

